

「じぶんでできるよ」

育っている(自立心・言葉による伝え合い)



運動会の練習後、部屋に入ってくると自分から手洗い、うがいを始めている子ども達。生活の流れもわかり、保育者に言われなくても見通してをもって自分からしようとする姿が見られてきています。

手洗いの仕方のポスターを見ながら「お山あらい!ごしごし」と言って丁寧に手洗いをしているAくん。その隣ではコップを持ってきて、うがいをしようとしているBくん。「せんせい、トイレに行ってくる」と言って先にトイレに行ってから、手洗い、うがいをしている子どももいます。手洗い、うがい、トイレに行った後は、お茶タイム。自分でお茶をついでこぼれることもあります。台ふきを用意しておく自分から台ふきを取りに行き、机を拭いています。お茶が拭けると「拭けた」と言っているCくん。台ふきを探している友達がいると「はい、どうぞ」と次の人に台ふきを渡していました。床にこぼれた時には床ふきで拭くようにしていますが、机用と床用の雑巾がわからない友達がいると、「オレンジの箱ので」「ここにしまうんで」と教えてあげていました。

身の回りのことが自分でできるようになり、「じぶんでできるよ」と自信がついてきています。また、友達同士で知らせ合っている姿には成長を感じ、嬉しく思っています。お手伝いがしたくて、パーティーの準備や布団を畳んで運ぶ等もしています。「自分は役に立つんだ」「こんなにできるよ」と自立心が育ってきています。お家でも自分でしようとしている時にはあたたかく見守ったり、子ども達ができそうなお手伝いをさせてみてあげてくださいね。